

地域マイクログリッドを目指した市民・行政・企業による 「再生可能エネルギー需給に係る実証事業第 1 号開始」 ～持続可能な地域社会の実現を支援～

11 月 21 日、日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野透、以下日東工業）、一般社団法人みんなちエナジーおよび愛知県長久手市の 3 者は、エネルギーを核とした地域活動の活性化に関する連携協定に基づき、実証事業第 1 号の太陽光発電事業を開始します。

この実証事業は、北小校区共生ステーション（長久手市段の上 2901 番地）の屋根を活用して太陽光発電設備（発電能力 13.12kW）を設置し、発電した電力を北小校区共生ステーションおよび北児童館へ電力供給を行い、長久手市がその電力を買い取り、売上金の 3 割を長久手市民主体のまちづくり活動へ還元するものです。また、ポータブル蓄電池を導入し、災害時に 20 台程度のスマートフォンの充電が可能となります。

日東工業は、2023 年 8 月 30 日に「再生可能エネルギー需給に係る実証事業に関する協定」(※)を締結しており、今回はその実証事業の第 1 号となります。

これからも、『地球の未来に「信頼と安心」を届ける』というミッションのもと、再生可能エネルギーの活用などを通じて持続可能な地域社会の実現に向けた支援を行ってまいります。



（左から）日東工業 黒野社長、みんなちエナジー 大庭代表、
長久手市 佐藤市長



実証事業第 1 号建物
指定避難所でもある北小校区共生ステーション

※「再生可能エネルギー需給に係る実証事業に関する協定」締結のニュースリリース（2023 年 8 月 30 日）につきましては以下をご覧ください。

<https://www.nito.co.jp/news/uploads/2023/0723a3daf2f8390affcb8bcbdd21075e3.pdf>

以上